

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年4月4日(2025.4.4)

【公開番号】特開2025-19226(P2025-19226A)

【公開日】令和7年2月6日(2025.2.6)

【年通号数】公開公報(特許)2025-023

【出願番号】特願2024-204860(P2024-204860)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月27日(2025.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記の課題を解決するために以下の構成を採用した。

本発明に係る遊技機は、遊技価値を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、入賞を判定する入賞判定手段と、演出を表示可能な演出表示部と、前記入賞に基づいて遊技価値を付与する付与制御手段と、遊技に用いた遊技価値数と、遊技により獲得した遊技価値数と、を用いて算出した算出情報値が閾値に到達すると、遊技の機能を停止した遊技停止状態に制御する遊技停止状態制御手段と、を備え、前記遊技停止状態に制御される前は遊技者の所定操作に基づいて音量変更が可能であり、当該所定操作に伴って音量表示を前記演出表示部に表示可能であり、前記遊技停止状態に制御された後は、前記所定操作が行われても前記音量表示を前記演出表示部に表示不可能である。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技価値を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

入賞を判定する入賞判定手段と、

演出を表示可能な演出表示部と、

前記入賞に基づいて遊技価値を付与する付与制御手段と、

遊技に用いた遊技価値数と、遊技により獲得した遊技価値数と、を用いて算出した算出情報値が閾値に到達すると、遊技の機能を停止した遊技停止状態に制御する遊技停止状態制御手段と、を備え、

40

前記遊技停止状態に制御される前は遊技者の所定操作に基づいて音量変更が可能であり、当該所定操作に伴って音量表示を前記演出表示部に表示可能であり、

前記遊技停止状態に制御された後は、前記所定操作が行われても前記音量表示を前記演出表示部に表示不可能である、遊技機。

50